

平成27年度 事業報告について

平成27年度事業計画は下記のとおりであった。

I 地域でくらす会本部関連

- 1 職員の育成を重視する。併せて職員の世代交代にも取り組む。
- 2 生活介護「みんなの処」の建設に取り組む
- 3 社会貢献活動に取り組む

「1 職員の育成を重視する。併せて職員の世代交代にも取り組む」に関して

- (1) 全職員が受講する「基本研修」を毎月（4月は除く）実施した。
- (2) 階層別・分野別研修を実施した
①新任者研修⑤コーチング研修（役付職員対象）⑥中堅職員フォローアップ研修
- (3) 職員の退職・病休が多くあり、その対策として若手や勤続年数の少ない職員を主任等に登用する結果になった。

「2 生活介護「みんなの処」の建設に取り組む」に関して

28年3月に建設を終えたが、想定外の出来事が多くその対応に追われた。

想定外1⇒27年4月の終り頃、県から「みんなの処」の建設国庫補助が付かなかった、と電話があった。そのため、国庫補助抜きで建設するように計画を見直し、27年7月半ばには見直し案の設計図が出来上がった。

想定外2⇒平成27年7月23日に再度、県から「実は建設の国庫補助が付いた」との連絡があったが、建設計画を元に戻すと、当法人だけでなく、建設予定地の半分に別の法人が建設予定の建物の設計も変更してもらう事になる。別の法人と協議して建設計画を見直すには2か月程の期間が必要で、建設完了時期が28年の4月以降にずれ込むと思われた。皆生養護学校の卒業生を28年3月半ばに受け入れる事、国庫補助を使うと28年3月末までに建設が完了せねばならない事、等を考慮して国庫補助を使つての施設建設を断念し、法人の自主財源で建設に向かう事にした。

「3 社会貢献活動に取り組む」に関して

- (1) 県からの委託事業として全県下を対象とした「対人援助基礎研修」「生活支援スキルアップ研修」を開催した。この事業の受託団体の「地域で支える仕組み研究会」の事務局を当法人が担った。また、日南町役場・日野町の介護事業所に出向いて「出前研修」を行った。
- (2) 「困難な課題を抱える発達障がい等の保護者へのサポート研究事業」も「地域で支える仕組み研究会」で県から受託し、当法人が事務局を担った。

II 蔵まち

- ・報酬改定あり今までよりも、更に収入減となる事を考え事業所加算の算定を視野に入れて検討したい。

→事業所加算Ⅱの算定を目標としたが、他事業所や利用者の声もあり、今年度の算定は見合わせた。

- ・利用者、各関係機関と顔の見える関係性作りを強化したい。

→個別にお楽しみイベントを計画し、利用者さんに大変喜ばれた。今後も継続して楽しみの提供を考えていきたい。

関係機関とは受け身になる事が多く、今後強化していきたい。

- ・戦力となる常勤職員の雇用、もしくは、事務職員の雇用を視野に入れ検討しい。

→常勤の雇用には至らなかったものの、事務職員(パート)を雇用することができた。事務を分担することで、一人の事務の負担を減らす事ができた。

- ・有償運送はニーズの高い事業でありのばしていきたい。その為にも、スロープ車への買い替えを検討したい

→スロープ車(軽)を新車購入することができ、利用者さんにも職員にも大変喜ばれた。

また、いくのさん家から中古車を譲り受けることができ、年数の経過したエアコンのきかない車両を廃車にし、乗り換えることで、今年の夏は快適に迎えることができそうだ。

Ⅲ いくのさん家

湖山いくのさん家

○小規模多機能型居宅介護いくのさん家（小規模多機能型居宅介護）

○グループホームいくのさん家（介護予防を含む認知症対応型共同生活介護）

小規模多機能については地域包括支援センター等から独居高齢者の紹介等あり利用者数は安定していた。グループホームは気性が荒く徘徊のある入居者の対応で苦勞し、職員の離職が続いた。

行徳いくのさん家

○デイサービスセンターいくのさん家（介護予防を含む認知症対応型通所介護）

○グループリビングかなで（サービス付き高齢者向け住宅）

住民による「かなで」の居間を活用したサロンや行事の共同開催など、地道な地域との関係づくりが進んでいる。登録利用者数は低調で、「かなで」入居者の支援が中心であった。

木守舎

○小規模多機能型居宅介護木守舎（小規模多機能型居宅介護）

職員の半数は経験の浅いスタッフで占められているが、病院や地域包括支援センターからの信頼があり、登録利用者数は年度を通して安定していた。

大郷いくのさん家

○小規模多機能型居宅介護大郷いくのさん家（介護予防を含む小規模多機能型居宅介護）

利用登録者数の伸びがなく、登録定員や通い定員を下げることにについて再三検討を重ねたが、年度を通して低め安定が続き、変更せず。「共生ホームたばこ家」の活用については年間計画を立てて実行している。

吉方温泉いくのさん家

○デイサービス吉方温泉いくのさん家（介護予防を含む通所介護）

利用登録者は多いが、要支援や要介護度の低い方の利用が多く、収入にあまり結びついていない。独居高齢者の支援に力を入れてきたこともあり、木守舎を本体としたサテライト型小規模多機能型居宅介護への転換を模索した一年であった。

COMMON 吉方温泉

○いくのさん家居宅介護支援事業所（居宅介護支援）



職員の退職により、年度途中で事業所を休止した。休止期間には制限があり、よい介護支援専門員があれば事業を再開したいとも考えていたが、採用には至っていない。

平成28年5月23日

監査報告書

社会福祉法人 地域でくらす会
理事長 井上 徹 様

社会福祉法人 地域でくらす会

監事 小田 朗 
監事 河原 道彦 

私たちは、社会福祉法人 地域でくらす会の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度における、理事の業務執行の状況及び財産の状況について監査を実施しました。

その結果、私たち監事の意見を次のとおり報告します。

1. 事業報告は、関連する法令及び通知等に従い、当法人の事業の執行状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。
2. 財産目録は、関連する法令及び通知に従い、当法人の財産を正しく示し、不整の点はないと認めます。
3. 貸借対照表は、関連する法令及び通知に従い、当法人の資産と負債の状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。
4. 資金収支計算書及び事業活動収支計算書は、関連する法令及び通知に従い、当法人の収入と支出の状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。

以上